



全日電工連

全日本電気工業工業組合連合会

〒105-0014

東京都港区芝2-9-11

全日電工連会館1F

TEL 03 (5232) 5861

FAX 03 (5232) 6855

E-mail zennichi@znd.or.jp

今月の主な紙面

- 第36回電気工業全国大会関連 ……1～8面
- 工組だより ……11面
- 青年部・女性部 活動報告 ……12面
- ※定期講習会場一覧（挟み込み）

<https://www.znd.or.jp/>ID: reader
PW: jeef25

暮らしと社会を支える使命を果たす

第36回

電気工業全国大会 北海道で開催

変化に迅速対応し強い組織を目指す

全日本電気工業工業組合連合会

会長 米沢 寛



全日本電気工業工業組合連合会（米沢寛会長）主催、北海道電気工業工業組合（小野寺涼一理事長）主管による第36回電気工業全国大会が10月15日・16日、北海道札幌市のグランドメルキュール札幌大通公園と札幌市教育文化会館の2会場で開催された。北海道での開催は第27回函館大会以来4回目で15年ぶり。

全国からの参加者は1,600名。暮らしと社会基盤を支える使命を果たし迅速な意思決定と行動力を持つ強い組織を目指すことを決議した。

北海道の魅力を紹介する 合同活性化研修会と式典を
るオープニングムービー 行った。

で開会した第36回電気工業 式典で米沢会長は、能
事業全国大会のメインテ 登半島地震後の現状につ
ーマは『北の大地で広げ いて「まだ避難生活が続
る絆・共に拓こう新時代 く方がいることをぜひと
への扉！』。 も覚えておいてほしい。

サブテーマに『今も昔 サブテーマに『今も昔
もこれからも、大切な電 被災者が心細いのは、こ
気をつないで行く電気工 が世の中に忘れられてい
事の魅力を伝えよう！』 るのではという気持ちか
を掲げ、意見交換会・組 あることだ。彼らにとつ

て、日本全体が自分たち 大会の概要が報告された。
を見ていくくれるという 学科競技が2026
思いが精神的、心のより （令和8）年11月24日、
どころになっている。復 実技競技は11月25日に実
興に向けて長い戦いにな 施され、会場は前回同様
るが、引き続きのご支援 の横浜アリーナ。
を心からお願いをした 出場選手枠は、1電工
い」と述べた。 組1名（48名）・プロッ

また電気工業界につ ク加算権利枠10名・女性
いて、「地域社会や時代 の部各ブロックから1名
を担う子どもたちに電気 の計9名・学生の部9名
工業の誇りと魅力をし の最大76名が各部門の競
っかりと伝え、業界の社 技課題で競い合うことが
会的価値の向上と発信力 報告された。

の強化を図り、憧れられ 続いて2027（令和
る業界を築く責任があ 9）年に開催される第37
る。我々は、電気を安全 回電気工業事業全

安心に提供するという使 国大会（中部・
命、社会インフラを担う 静岡県開催）の
誇りがある。変革を求め 紹介とPRが行
られる転換点において、 われた。

10月15日には
『大地に輝く希
望の灯り』次世
代へ誇りをつな
ぐ電導師たち
〜をテーマと
した意見交換会
を開催。630
名の参加者がテ
ーブルディスカ
ッションに加え
て、初の試みと
なる『電気工事
カードゲーム』
を体験するなど
新たな取り組み
も行った。

大会式典では、来賓祝
辞、組合役員功労表彰、
優良事業工組表彰、優良
事業工組・青年部優良活
動事業の金賞受賞事業発
表を実施。前日に開催さ
れた意見交換会の集約も
報告された。その後、全
国から集まった参加者全
員の総意として大会決議
を採択した。

また2026（令和8）
年11月に開催される第6
回電気工事技能競技全国
式典当日の午



前中には、組合活性化研 修会を実施。全国の工組
画された『Go!Go!
が実施する事業事例が発
表され、参加者は人材確
保育成、組合運営の強化
・実践に繋がる様々な事
業を学んだ。
会場にはメーカーや団
体23社が製品展示や情報
提供を行う出展ブースが
設置され、多くの来場者
が足を運んで企業担当者
から説明を受けた。
また新たな取り組みと
して「子供たちに憧れら
れる電気工業界を目指
8面に掲載。



経済産業省
大臣官房（産業保安・安全担当）
細川 成己 審議官



天野 周治 札幌市副市長



三橋 剛 北海道副知事

祝辞を頂いた
ご来賓の方々

36回電気工事業全国大会



開会を宣言する
北海道電気工事業工業組合
小野寺 理事長

大会
式典

今も昔もこれからも、

大切な電気をつないで行く電気工事の魅力を伝えよう！

が電気工事業界の素晴らた。

しい未来に向けて新たなスタートをする場であるとともに、今大会が全日電工連の組合史に刻まれる新たなページになることを祈念する」開会宣言で幕を開けた。

来賓祝辞では、経済産業省の細川成己大臣官房審議官（産業保安・安全担当）が「電気保安を支える人材の確保が更に必要になってきている。日々の安全な暮らしを守る

ため、官民が知恵を出し合いながら、人材の確保、育成やデジタル技術を活用した保安業務の省力化、高度化に取り組み、

課題を解決していくことが極めて重要と考えている。貴連合会と引き続き連携し、電気工事業界の魅力発信や人材確保対策に積極的に取り組んでいく。今回のメインテーマ「北の大地で広げる絆・共に拓こう新時代への扉」のように、現場で活躍される皆さまが絆を広げ、ともに新時代への扉を開けるように、本日の大会が実

や経済活動において欠くことのできないライフラインだ。国土交通省としても建設業者の賃上げに向け、公共工事設計労務単価を全職種平均で対前年度比6パーセント引き上げるなど、着実に取り組みを進めている。今後、改正建設業法に基づき、適正な労務費の確保、また労力に応じた賃金の支払いを実現するため、

生成AIの普及などにより、今後、電力需要が急拡大すると見込まれている。今、北海道では、次世代半導体の製造拠点やアジア最大級のAIデータセンターなど、豊富な再エネを活かしてGXやDX関連産業の集積が進んでいるところだ。北海道は、再エネの供給拠点かつ利活用拠点として、この国の脱炭素化とエネ

事故能競技大会など人材育成や入職者拡大対策にも積極的に取り組み、大変心強く感じている。今後も電気工事業界の発展のため力を発揮していただきたい。

本大会には日本全国から多くの方々が参加されている。北海道の10月は秋鮭や秋刀魚など魚介類に加えて、じゃがいも、かぼちゃ、玉ねぎなどの

幌、ご家族やご友人とともに再び訪れていただきたい」と述べた。

北海道電力ネットワークの細野一広代表取締役社長は、「労働人口の減少による人材不足がどの業界も課題となっているが、私も送配電業界においても人材不足は喫緊の課題だ。本大会における貴連合会のスローガンは『子供たちに憧れられ

て、電気工事業の皆様は、日頃の設備保守や新設工事、あるいは災害対応など、あらゆる場面で欠かすことのできない大切なパートナーだ。特に近年は、再生可能エネルギーの導入やスマートグリッドの構築など新たな挑戦が続く中で、皆様の専門性と現場力がますます重要になってきている。加えて、温暖化に起因する

維持し、安全、安心で快適な市民生活と経済活動を支えていくためには、建設産業の持続的な体制が不可欠だ。そのような幌雪まつりも行われる。

る。ぜひ北海道の秋の味
 覚を楽しんでいただけ
 ばと思う。11月からは
 札

す」とお聞きしており、
 この目指すべきビジョ
 ンが一致していることを非

は、自然災害の激甚化や
 頻発化をもたらししてい
 る。こうした環境のもと、

繋がることを大いに期待している」と述べた。

国土交通省の近藤陽介、不動産・建設経済局建設振興課専門工事業・建設関連業振興室長は「建設業は、国民生活や経済活動を支える社会資本整備の担い手であると同時に、先ほど米沢会長からお話があったように、災害に、先ほど米沢会長からお話があったように、災害（代読：三橋剛副知事）は、北海道の鈴木直道知事

本大会のテーマは、北の大地で広げる絆・共に拓こう新時代への扉である。ここ北海道で開催される大会が電気工事業の未来につながる実りあるものとなり、新時代の発展を担う産業としてその魅力と重要性が広く発信されますことを期待している。

覺を樂しんでいただけね
 ばと思う。11月からは私

この目指すべきビジョンが一致していることを非

頻発化をもたらしている
こころとした環境のもと、

う地域の守り手として、特に災害の多い我が国において大変重要な役割を果たしている基幹産業だ。私も能登半島地震の発災時に石川県金沢市で勤務していた。全国から応援に来ていただいた皆さまが向かっていく姿は大変頼もしく、また心より感謝しながら見送つていた。

平成34年9月に発生した北海道胆振東部地震により、北海道はほぼ全域が停電するブラックアウトとなり、多くの道民が電気の大切さを身をもつて体感した。皆さまが自治体との協定や電力会社との協議などに基づき、災害時における復旧工事にご尽力いただいていることに心より敬意を表する。

また、近所からお越しの皆様には、ぜひこの機会に秋の味覚や雄大な自然など、寒りの秋を迎えた北海道の多彩な魅力をご堪能いただきたいと述べた。

札幌市の秋元克広市長（代読：天野周治副市長）は「近年、建設業界を取り巻く環境は、資材価格の高騰や担い手不足など大変厳しい状況が続いて

第36回 全国大会

北の大地で広げる絆・



次回大会(静岡)をPRした
石原会長



技能競技全国大会の
概要を説明した鹿野委員長



大会決議を表明した
高野副会長



次回大会(静岡)をPRした
前嶋理事長



交流会閉宴の挨拶をする
樋口副会長



閉会の辞を述べた
天野副会長

現状にしっかりと対応し、
ていくためには、これま
で以上に貴連合会の皆様
との連携が必要と考えて
いる。本大会のメインテ
ーマ「北の大地で広げる絆
・共に拓こう新時代への
扉の通り、今後とも、貴
連合会と私たちが一層絆
を深めて、お客様に安定
した電気をお届けするこ
う使命のもと、社会の
皆様の期待にお応えでき
るよう取り組んでいき
たい」と述べた。

また、令和9年に静岡
県で開催される第37回電
気工業技術大会の開催
地あいさつでは、中部ア
ロック役員・組合員・青
年部会員が映像とともに
静岡県をPR。

中部電気工業組合連
合会の石原和夫会長と静
岡県電気工業組合の
前嶋純理事長が中部ア
ロック役員・組合員・青
年部会員が映像と共に
静岡県をPR。

式典後に行われた交流
会では、全道11支部が用
意した各地の特産品・銘

組が選ばれた。
大会決議は、「暮らし
と社会基盤を支える使命
を果たす」「次代を担う
若者に選ばれる業界」「強
い組合組織として進化す
る」を高野憲一郎副会長
が表明し、決議文を米沢
会長に手渡した。

来年開催される第6回
電気工事技能競技全国大
会については、技能競技
委員会の鹿野敏夫委員長
が開催概要を報告。

また、令和9年に静岡
県で開催される第37回電
気工業技術大会の開催
地あいさつでは、中部ア
ロック役員・組合員・青
年部会員が映像と共に
静岡県をPR。

式典後に行われた交流
会では、全道11支部が用
意した各地の特産品・銘

酒が振る舞われたほか、
神輿の展示、よさこいソ
ーラン演舞などが行わ
れ、全国からの参加者が
交流を深めた。



第37回 電気工業全国大会は静岡県浜松市で開催



第6回 電気工事技能競技全国大会は横浜アリーナで開催

全国大会PR

酒が振る舞われたほか、
神輿の展示、よさこいソ
ーラン演舞などが行わ
れ、全国からの参加者が
交流を深めた。

大会決議

開拓の志と未来を拓く大地北海道
札幌市において「北の大地で広げる
絆・共に拓こう新時代への扉」をメ
インテーマに「今も昔もこれからも
大切な電気をつないで行く電気工事
の魅力を伝えよう」をサブテーマと
して第三十六回電気工業全国大会
を開催できましたことをここに深く
感謝申し上げます。

私たちはいま人口構造の変化、
AIやデジタル技術の進展、脱炭素
社会の具現化への行動など、かつて
ない社会変化の局面にいます。我が
業界にとっても重大な転換点であ
り、今後も魅力ある業界であり続け
るためには次代を見据えた新たな一
歩を踏み出すことが求められており
ます。

一 全国の成功事例を共有し、迅速
な意思決定と行動力をもつ強い
組合組織として進化する

以上、関係行政並びに諸団体、関
係企業の一層のご指導ご支援をお願
い申し上げ、我々組合員は広く社会
の付託に応え、時代の変化を先取り
し実行する組織と結束を目指すこと
をここに決議する。

二〇二五年（令和七年）十月十六日

全日電工連では時代の潮流を捉
え、「人材確保・育成」「DX活用」「組
合組織力・財政基盤強化」を重点施
策と位置づけ、持続可能な業界構築
に向け取り組んでまいります。

本大会においては「未来へつなぐ
電気工事の技術と仲間力」をテー
マに掲げ、各界からの貴重な意見
をいただきなが
らこれからの業
界を支える具
体的な実行策につ
いて活発な議論
を行いました。

また、脱炭素
化・エネルギー
転換が進む中、
第7次エネルギ
ー基本計画が示
すように再生可
能エネルギーの
導入に加え資源

の乏しい日本では、原子力の再稼働
および最大活用が国益に資する重要
な基幹電源として必要であると強く
認識しております。

ここに全国から集った組合員、青
年部員、女性部員の総意として次の
通り決議します。

一 高度技能者の育成定着を通じて
電気を安全安心に送り届ける自
負を持ち、暮らしと社会基盤を
支える使命を果たす

一 AI、DXツールの活用で多様
で柔軟な職場づくりを進め、次
代を担う若者に選ばれる業界を
目指す



大会決議を米沢会長(左)に手渡す高野副会長

組合役員功労表彰・優良事業工組表彰

第36回 電気工事業全国大会
全日本電気工事業工業組合連合会 会長表彰受賞者
(敬称略)

氏名	北海道工組支部名	事業所名
岩城直人	小樽支部	株式会社富士電気
鈴木暁彦	札幌支部	拓北電業株式会社
須田敏行	札幌支部	株式会社須田電気工事
須藤譲	札幌支部	株式会社藤電気
大倉直	函館支部	大倉電気株式会社
土谷禎宏	函館支部	日東電気工事株式会社
松見哲也	室蘭支部	太平電気株式会社
猪股浩徳	岩見沢支部	末廣屋電機株式会社
石森勝秀	旭川支部	石森電気工事株式会社
村山聡	名寄支部	株式会社東洋社
山本義明	北見支部	山本電工株式会社
山原活志	釧路支部	株式会社新橋機電
武藤哲也	帯広支部	株式会社ムトウ電気工業



米沢会長と岩城氏（右）



会長表彰

業界・組合への功労者

13名が受賞

組合役員功労表彰は、長年にわたり地域の組合育成強化に尽力し、電気工事業の発展に寄与された方々に贈られるもので、今回の受賞者は13名（左表）。

受賞者を代表して、北海道電気工事業工業組合・小樽支部の岩城直人氏が、表彰状と記念品を米沢会長から受け取った。

優良事業表彰は11工組が受賞

第7回 優良事業工組表彰 受賞工組一覧

■：事業改善・改革部門、■：新規事業部門、■：安全部門

	工組	事業名
金賞	石川県電気工事工業組合 本部	■大規模災害の対応の検証及び今後の対策
銀賞	福島県電気工事工業組合 会津支部	■若者向け電気工事業紹介の漫画冊子を作成
	佐賀県電気工事業工業組合 本部	■組合組織統一化事業
銅賞	新潟県電気工事工業組合 青年部	■キャリアパスパンフレットと人事評価ツールで業界の未来を創る
	埼玉県電気工事工業組合 本部	■TEPCOコミュニティーサポート
	長野県電気工事業工業組合 本部	■青年部会役員経験者による特別委員会と組合員増強の取組み
優良賞	福井県電気工事工業組合 女性部	■キャリア教育プログラム事業
	東京都電気工事工業組合 本部	■電気工事業法巡回指導
特別賞	北海道電気工事業工業組合 札幌支部青年部	■未来の電気工事士を育む取り組み
	兵庫県電気工事工業組合 本部	■新規組合員獲得のための未加入者との接触手法開発事業
	広島県電気工事工業組合 本部	■組合員・青年部による県独自の審査体制の構築で技能競技大会を充実

優良事業工組表彰

石川県工組が金賞

優良事業工組表彰で、金賞を受賞したのは石川県工組の『大規模災害の対応の検証及び今後の対策』。

銀賞は福島県工組会津支部・佐賀県工組、銅賞は新潟県工組青年部・埼玉県工組・長野県工組が受賞。

優良賞は福井県工組女性部・東京都工組、特別賞には北海道工組札幌支部。

優良事業工組表彰で、金賞を受賞したのは石川県工組の『大規模災害の対応の検証及び今後の対策』。

銀賞は福島県工組会津支部・佐賀県工組、銅賞は新潟県工組青年部・埼玉県工組・長野県工組が受賞。

優良賞は福井県工組女性部・東京都工組、特別賞には北海道工組札幌支部。



優良事業工組表彰の受賞工組
(左から米沢会長、福島県、佐賀県、石川県、新潟県青年部、埼玉県、長野県)



金賞を受賞した石川県工組の発表
(左から岡田事務局次長、稲垣副理事長)



青年部会員大会の金賞事業を発表する
関東電気工事青年部連合会の山下幸治筆頭副会長

第36回 全国大会

意見交換会

大地に輝く希望の灯り
～次世代へ誇りを繋ぐ電導師たち～



閉会の辞を述べる
會津委員長



趣旨説明をする
加藤意見交換会委員長



あいさつをする
米沢会長

10月15日、ランドメルキ
ユール札幌大通公園で意見交
換会が開催された。
今回の意見交換会は、本大
会サフテーマの「電気工事の
魅力を伝えよう」を深く掘
り下げて、「大地に輝く希望
の灯り～次世代へ誇りを繋ぐ
電導師たち～」をテーマにし
て実施された。
あいさつに立った米沢会長
は「この意見交換会のテーマ
は、我々の業界にとって喫緊
の課題である人材確保だ。皆
さんの意見に目を通しお聞か
せいただき、これからの全日
電工連の施策の参考にさせて
いただく。業界や自社の経営

に問題意識
を持つて集
まれる、こ
れこそが我
々の素晴ら
しさである
と思ってい
る。一期一
会という言
葉がある。
意識の高い
皆さんが集
まったこの
大会を皆さ
んで楽しん
でいただ
き、そして
来てよかつ
た、得るも
のがあった
という大会
にしたい。
傍観者では
なく、それ
ぞれが主役
として参
加していただ
きたい」と参
加者と呼ば
けかけた。
続いて意見交換会委員会の
加藤委員長が「電気工事業
界の認知度向上や入職率向上
を期待し、これまで様々な取
り組みの中で、電気工事業界
の魅力を伝える活動を継続し
てきたが、未だに人手不足が
続いている。10年後の電気工
事業界を見据え、全国の仲間
と過去の経験と未来への展望
を共有し、多くの考えから
新たな魅力を見つめる瞬間が
訪れることが期待される。一
人ひとりの電気工事業に携わ
るものとして誇りを取り戻

し、真の魅力を伝えることが
できる電導師になることが目
的だ。業界の新たな魅力を携
えた電導師たちが未来への思
いを表現し、行動を起こすこ
とで全国各地に共感が生ま
れ、本大会サフテーマの電気
工事の魅力が伝えようとい
う思いが本当の意味で実現さ
れることを願っている」と趣
旨説明して意見交換会は開催
された。
テーブルごとのディスカッ
ションに加え今回の意見交換
会では、新たな試みとして『電
気工事カードゲーム』を実施。
電気工事士としてのやりがい
や自覚、次世代に伝えるべく
多様な思考を再確認・共有す
ることを目的として参加者に
体験してもらった。
閉会あいさつで、人材開発
委員会の會津圭一郎委員長は
「全日電工連では、重点事業
の一つとして掲げている人材
確保育成に係るテーマについ
て、活発な意見交換をしてい
ただいた。本委員会では、人
材確保のターゲット層を明確
に設定し、その重点に沿った
具体策を立案・実行していく。
本日いただいた意見を基に、
次世代の担い手から憧れられ
る業界づくりを目指し、各種
対策を検討していくので、引
き続きのご協力をお願いす
る」と述べた。



未来への思いを表現して電気工事の魅力を伝える

発表者：北海道電気工事業工業組合 青年部連合会
中山 卓也 副会長

同じ業界で日々を過ごす私たちだからこそ、
その魅力や価値を実感し、未来を共に描くこ
ができると思う。社会を支える責任と誇り、確
かな技術に裏打ちされた安定した職業としての
強み、その技術を磨きながら仲間とともに成長
できる喜び。これらは電気工事士という職業の
揺るぎない魅力だ。私たちが胸を張って次の世
代へ伝えていくべきものでもあり、自らの仕事
の価値を再認識することができた。

また、電気工事の未来については、ワクワクする挑戦として語
られた。私たちはこの変化を恐れるのではなく、胸を張って楽し
みながら挑んでいこうという気持ちを共有できたと思う。

今回の意見交換会で確信した。技術と絆こそが未来を切り拓く
力になるということだ。仲間とともに培った技術を磨き続け、互
いに支え合う絆を大切にしながら、私たちは、10年後の電気工事
という新たな時代へ胸を張って挑んでいく。ここに集う仲間とと
もに、その未来を切り拓いていく。私たち電気工事士は、「電導師」
として技術と絆を磨き、北海道の大地に希望の灯りを灯し続ける。
次の世代に誇りと夢をしっかりと手渡すために挑戦を続けていく。



発表者：北海道電気工事業工業組合 青年部連合会
中村 貴裕 副会長

意見交換会では、電気工事の魅力をテーマに活
発な議論が行われた。ここにお集まりの皆さまも
同じように電気工事の現場で汗を流し、暮らしや
社会を支える責任を担ってこられた方々だ。だから
こそ、私たちの仕事に対する誇り・やりがいを
心から共有できるのではないかなと思う。

私たちの会社もまた、長きにわたり電気工事の
現場を支えてきた。多くの現場に携わり、人々の
生活を守り、地域に貢献してきたという自負がある。新しい建物
に電気が通り、照明がついた瞬間、停電復旧で人々が安心の表情
を見せた瞬間、その一つひとつが会社の誇りであり、電気工事士
としてのやりがいだ。

一方、課題としてこの仕事に見合うだけの処遇がまだ十分に確
保されていないという現実がある。電気工事は人々の生活や社会
インフラを支える大切な仕事であるにもかかわらず、賃金水準は
決して高いとは言えない。業種別の最低賃金制度が導入され、働
く環境が改善されれば、若手の入職者が増え、人材の定着にもつ
ながり、さらには安心して働ける誇りある業界へ変わっていくの
ではないか。



組合活性化研修会



閉会の辞を述べる
小野寺副会長



趣旨説明をする
佐藤委員長

全国工組の特色ある事例を発表

組合運営の強化・実践につなげる

第32回沖縄大会から開始された組合活性化研修会は、工業組合の組織強化や財政基盤の安定化の観点から、全国各地で取り組まれている特色ある事業を紹介し、自らの組合運営に活かせるよう、新たな発想や気づきを得る場として位置づけられている。

第32回沖縄大会から開始された組合活性化研修会は、工業組合の組織強化や財政基盤の安定化の観点から、全国各地で取り組まれている特色ある事業を紹介し、自らの組合運営に活かせるよう、新たな発想や気づきを得る場として位置づけられている。

組合員の役に立つ事業。全国大会で実施して

第7回優良事業工組表彰は、運営の強化について、各地で先行的に展開されている活動事例を参考に、工組での実践に繋げていきたい。今回の研修会では、表彰制度に定めた運営するために、成果が生み出せる体制づくりが欠かせない。11事業を発表する。今後「新規事業」「安全」の3部門から11事業の事例を選出した。

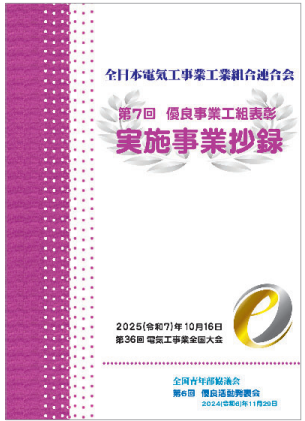
研修会では「人材確保」「人材育成」「仕事づくり」

第7回優良事業工組表彰にエントリーされた組合員強化に資する事業を、小野寺副会長は閉会の辞で「全日電工連では組合組織力強化を重点施策として掲げ、さまざまな対策の検討に取り組んでいる。組合の活力を維持し地域社会の発展に貢献していくためには、組織率向上に向けた取り組みが不可欠だ。組合では、技術講習や安全教育、人材育成、最新法令情報の発信など、組合員の加入価値を高める事業を幅広く実施している。今後も組合ネットワークを活用して、組合員に役に立つ事業や情報発信をさらに充実させることで、組合員メリットを一層高め組合の魅力を確認に示していきたい」と述べた。

今回の優良事業工組表彰にエントリーした全54事業と昨年度に開催した第6回青年部優良活動発表会で報告された9事例を収録した冊子は、大会当日に参加者に配布された。

組合活性化研修会 事例発表（第7回 優良事業工組表彰）

ジャンル	工 組	事 業 名
【人材確保】	北海道・札幌支部 青年部	未来の電気工事士を育む取り組み
	福島県・会津支部	若者向け電気工事業紹介の漫画冊子を作成
	徳島県・本 部	人材確保に向けた新卒採用への取り組み
【人材育成】 ・人材育成 ・人材交流 ・技能向上	新潟県・青年部	キャリアパスパンフレットと人事評価ツールで業界の未来を創る
	石川県・女性部	D電P絆パーティ
	広島県・本 部	組合員・青年部による県独自の審査体制の構築で技能競技大会を充実
【仕事づくり】 【安全】	埼玉県・本 部	TEPCOコミュニティーサポート
	東京都・本 部	電気工事業法巡回指導
【組合活性化】 ・組織改革 ・組織力向上	長野県・本 部	青年部会役員経験者による特別委員会と組合員増強の取り組み
	兵庫県・本 部	新規組合員獲得のための未加入者との接触手法開発事業
	佐賀県・本 部	組合組織統一化事業



全54事例が掲載されている抄録

第36回 全国大会

組合活性化研修会

人材確保

北海道

未来の電気工事士を
育む取り組み

発表者：青年部 中島 健佑 副部長

福島県

若者向け電気工事業紹介の
漫画冊子を作成

発表者：若松支部 萩生田 学 副支部長

徳島県

人材確保に向けた
新卒採用への取り組み

発表者：吉村 常義 事務局長

人材育成

新潟県

キャリアパスパンフレットと
人事評価ツールで業界の未来を創る

発表者：青年部 石川 和史 会長

石川県

D電P絆パーティ



発表者：女性部 中村 志保 部長

広島県

組員・青年部による県独自の
審査体制の構築で技能競技大会を充実

発表者：青年部 中村 浩之 副部長

仕事づくり・安全

埼玉県

TEPCO
コミュニティサポート

発表者：大元 浩司 副理事長

11 事例発表

～新たな発想や気づきを
得る場として情報発信～

東京都

電気工事業法巡回指導



発表者：新井 武明 専務理事

組合活性化

長野県

青年部会役員経験者による
特別委員会と組員増強の取り組み

発表者：関森 和広 理事

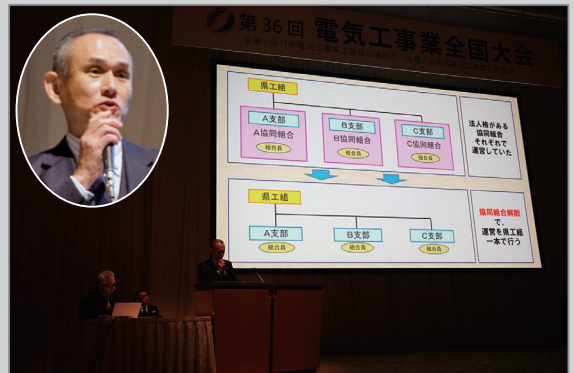
兵庫県

新規組員獲得のための
未加入者との接触手法開発事業

発表者：藤田 勝彦 将来構想策定委員長

佐賀県

組合組織統一化事業



発表者：脇山 良昭 副理事長

第36回 全国大会

フォトアルバム



札幌電協会の半纏を羽織って
あいさつをする米沢会長



交流会開会のあいさつをする
鈴木暁彦大会実行委員長



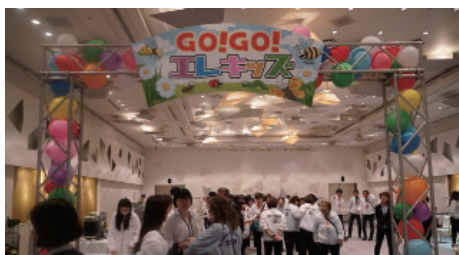
乾杯のあいさつをするパナソニック株式会社
エレクトリックワークス社大瀧清社長



全国の仲間が北の大地へ集結



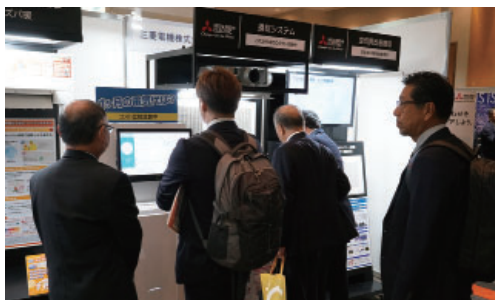
大会を支えた多くのスタッフ



子どもたちの笑顔が溢れたGo!Go!エレキッズ



さまざまなイベントで
参加者をおもてなし



出展企業が製品展示や情報提供

